

若手教師の育成の実践事例を紹介し、
これからの若手教師育成の道しるべを示す。

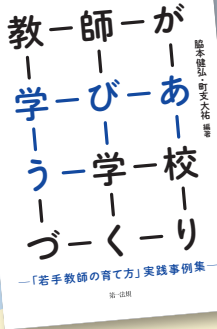
教師が学びあう学校づくり

—「若手教師の育て方」実践事例集—

脇本健弘・町支大祐 編著

A5判 248頁

定価：2,420円(本体2,200円+税10%)



若手教師の大量採用に加え、今後も35人学級化などで若手教師がますます増え、いま学校では、若手教師の育成が喫緊の課題となっています。

本書は、若手教師の育成について「1対1で若手教師を育てる」「組織で若手を育てる」「若手を支えるミドルを育てる」の視点から実践事例をもとに解説！

理論編と実践編で分かりやすく解説し、自校に応用する際のヒントが満載の実践事例集です。

本書の実践事例をもとにしながら、自校や子どもの実態をふまえ、修正・実践を行う際、事例中のどこが要点であるかを考えるヒントになります。個々の事例の根底にある考え方を理解できます。

メンタリング、経験学習、ALACTモデル、メンターチーム、事前検討重視型授業研究、サーベイ・フィードバック、学習共同体など、「教師が学びあう学校」の独自の取り組みを展開している実践事例を紹介。

理論編

理論編

1対1で若手教師を育てる！

第2部理論編では、1対1で若手教師を育てるための理論について紹介します。具体的には、メンタリングをもとに、1対1の支援について考えていきたいと思います。メンタリングとは、大まかにいうと、先輩による後輩への支援を指します。

メンタリング

メンタリングの起源は、ギリシャ神話「The Odyssey」に登場するメンターとあるといわれています。王に仕えるメンターは、王からの信頼が非常に厚く、王の良き理解者であり、支援者として描かれており、そこからメンターという言葉が生まれたと言われています(久村1997)。メンターとは、人生経験が豊富で、指導者、後見人、教育者、支援者といった役割を果たす人を意味する言葉として使われています。また、支援を受ける立場の人をメンティイといいます。

メンタリングに関する研究や実践は、ビジネスなどの分野で盛んに行われています。教師の分野では、主にアメリカや諸外国において行われてきました。具体的には、1980年代ごろから、若手教師の高い離職率を改善するために、初任者と先輩教師のペアをつくる取り組みが始まりました。日本においては、1989年から初任者研修が段階的に導入され、指導教員の制度のもと、初任者と先輩教師のペアが公的に形成されるようになりました。しかし、日本でメンタリングという言葉がよく使われるようになったのは、近年になってからです。日本の教師にも、もともとインフォーマルなお互いを支えるという文化がありました。例えば職員室において、ストーブを囲んで、授業や子どもとの関わり、悩みなどを語り合うという習慣が、日本の学校には根付いています。そのため、メンタリングという言葉を特に意識しなくとも、そのような営みは自然発生的

12

実践編

実践編

『実践事例10』ミドルの育成を目指したOJT運動型研修 —横浜市取り組み—

横浜市では、10年次教員研修、そして教育公務員特例法の一部を改正する法律(平成28年法律第87号)で定められた法定研修である「中堅教諭等資質向上研修」を「人材育成マネジメント研修」として実施しています。ここでは、平成26年度から令和元年度に行われたOJT運動型研修「人材育成マネジメント研修」を紹介します。6年間行ってきたこの研修は、横浜市の教職員の人材育成の風土を築き上げてきた重要な取り組みの一つと考えています。横浜市の人材育成の現状と課題を踏まえた研修のコンセプトと研修内容の開発及び実践について詳細を述べ、**校内OJTでも活用できる人材育成におけるミドル層の育成ポイント**を考えます。

……1. 人材育成マネジメント研修のコンセプト……

(1) 横浜市の人材育成の現状と課題

横浜市は平成17年度頃から大量退職・大量採用が始まりました。経験の浅い教職員の増加に伴って、学校を組織する教職員の経験年数に大きな変化が生じてきました。それは、経験の浅い教職員の増加です。平成26年4月時点では、全教職員の56%が経験10年目までの教職員という状況でした。そして、リーダーシップを担うべきミドル層不足が進み、今までも経験の浅い教職員にも高度な役割が求められるようになりました。どの学校でも共通の課題は、「経験の浅い教職員をどう育成するか」でした。その課題に対応するために、平成17年度頃から横浜市全体の学校で、徐々に広がったのが「メンターチーム」です。

18



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<https://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

目次

第1部 社会背景・政策動向

今なぜ若手教師育成なのか
脇本健弘・町支大祐

第2部 1対1で若手教師を育てる！

—授業から校務分掌まで—

理論編 1対1で若手教師を育てる！
脇本健弘・町支大祐

実践編 《実践事例1》 授業リフレクション—経験学習モデルにもとづく1対1メンタリング—
玉虫麻衣子

《実践事例2》 学習指導案の作成—教師が成長し合う「学習指導案の協働作成」—
尾澤知典

《実践事例3》 校務分掌—学校行事のマネジメント支援—
藤本祐之

座談会 若手教師を支援する先輩教師のホンネ
脇本健弘／町支大祐／尾澤知典／片桐大樹／玉虫麻衣子／藤本祐之／森綾乃／寺谷亘

第3部 組織で若手を育てる！

理論編 組織で若手の学びを支える！
脇本健弘・町支大祐

実践編 《実践事例4》 チームによる若手支援—メンターチーム—
松原雅俊

《実践事例5》 これからの授業研究—事前検討重視型授業研究—
新坊昌弘／町支大祐／中堂寿美代／脇本健弘

《実践事例6》 データにもとづく授業改善—学力調査分析ワークショップ—
平野智紀

《実践事例7》 これからの学びをデザインする—教師の学びを「探究」にする—
鈴木紀知

《実践事例8》 教師も学び、育つ学校づくり—学習共同体への成長—
渡邊久暢

座談会 チームを支える先輩教師のホンネ
脇本健弘／町支大祐／尾澤知典／片桐大樹／玉虫麻衣子／藤本祐之／森綾乃／寺谷亘

第4部 若手を支えるミドルを育てる！

—若手育成の鍵はミドル—

理論編 ミドルを育てるための理論—研修の設計と実践—
脇本健弘・町支大祐

実践編 《実践事例9》 校内OJTによるミドルリーダーの育成—管理職の関わり—
大内美智子

《実践事例10》 ミドルの育成を目指したOJT連動型研修—横浜市の取り組み—
柳澤尚利

《実践事例11》 ミドルリーダーと初任期教員がともに学ぶ研修システム—大阪府の取り組み—
中堂寿美代

コラム 若手の育成を支えるこれからの指導主事のあり方
新坊昌弘

第5部 これからの教師の育成のあり方を考える

座談会 これからの教師の育成のあり方を考える
中原淳／新坊昌弘／中堂寿美代／柳澤尚利／脇本健弘／町支大祐

おわりに

おわりに 脇本健弘・町支大祐

詳細・お申し込みはコチラ

<クレジットカードでもお支払いいただけます>



第一法規 ストア

検索

CLICK!



キ リ ト リ 線

申込書 (第一法規刊)

教師が学びあう学校づくり—「若手教師の育て方」実践事例集—

●定価2,420円(本体2,200円+税10%) [コード074989]

*弊社宛直接お申し込みいただく場合、一回のご注文でお届け先が一箇所、お買い上げ合計金額5,000円(税込)以上のご注文は、国内配送料サービスといたします。また、お買い上げ合計金額5,000円(税込)未満のご注文については、国内配送料550円(税込)にてお届けいたします。
*消費税は申込日時の適応税率に依ります。

◎上記のとおり申し込みます。代金については、次に示す方法にて支払います。

*現在、弊社とお取引のないお客様につきましては、代金引換にてお支払いをお願い申し上げます。

(いずれかを✓で選択ください。) 代金引換により支払います。 現金到着後請求書により支払います。

*代金引換手数料について 一回あたりのご購入金額 (商品の税込価格+送料)の合計が	1万円以下の場合、330円(税込) 3万円以下の場合、440円(税込) 10万円以下の場合、660円(税込)	※送料・代引手数料を含む合計金額は、商品のお届け時に配送業者 に現金でお支払いください。その際、クレジットカードはご利用 いただけません。
---	--	---

年 月 日

〒 _____
ご住所

機関名

フリガナ
ご氏名

TEL _____

E-mail _____@_____

お客様の個人情報の
取扱いについて

お客様より預かりした個人情報は、納品や請求書の発送・アフターサービス、弊社製品・サービスのご案内などの目的のために利用させていただきます。また、お客様の個人情報は、弊社ホームページに掲載のプライバシーポリシーに基づき適切に取り扱います。なお、個人情報についての照会、修正・削除・利用停止を希望される場合、その他お問い合わせにつきましては、お問合せフォーム (https://www.daiichihoki.co.jp/support/contact/contact.php) からフリーダイヤルにてご連絡ください。フリーダイヤル ☎TEL 0120-203-696 ☎FAX 0120-202-974

取扱い

この申込書は、ハガキに貼るか、このままFAXで下記宛お送りください。

■宛先
〒107-8560
東京都港区南青山2-11-17
第一法規株式会社
☎FAX.0120-302-640

書店印